



一般財団法人にいがた住宅センター 第6回定期セミナー



万が一に備える 住まい方を考える

中越地震をはじめ、東北大震災、熊本地震等、実際の現場での
数々のフィールドワークに基づく知見から、より安心な住まい方を考えるセミナー。

POINT 1 近年多発する
地震災害と
建物被害の関係

POINT 2 建物を強くする
取り組みの
これまでとこれから

POINT 3 人口減少社会における
空き家対策と地震



講師

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科
准教授

澤田 雅浩 氏



●慶應義塾大学大学院政策メディア研究科後期博士課程、博士(政策・メディア)、『00年4月 長岡造形大学環境デザイン学科講師、『08年4月 同准教授、『11年4月~'14年3月 同 復興支援センター センター長兼任、『14年4月より現職、専門は地域計画、防災計画
●役職/長岡震災アーカイブセンター きおくみらい 館長、(財)山の暮らし再生機構 理事、内閣府地区防災計画アドバイザーボード アドバイザー、新潟県国土利用計画 審議会委員、長岡市都市計画審議会委員、他 ●著書 「中越地震から3800日 復興しない被災地はない」ぎょうせい '14(共著)、「災害フィールドワーク論」古今書院 '14(共著)、「都市計画とまちづくりがわかる本」彰国社 '12(共著)、他

2016年
日時 **9月17日(土)**
13:30~15:00 (13:00開場・受付開始)

会場 **NST本社 3階 ゆめディア**
新潟市中央区八千代2-3-1
公共交通機関のご利用をお願いいたします。

参加者
募集 **先着100名
参加無料**

参加をご希望の方は
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、
FAX、メール又は郵送などでお申し込みください。

お申し込み先/**FAX.025-283-1148**
☑ **nph@nphcc.or.jp**

締め切り **9月9日(金)**
※締め切り前に定員に達した場合は、聴講をお断りする場合がございます。
主催/一般財団法人にいがた住宅センター
後援/新潟県、新潟市

2階イベントホール 同時開催 (PRコーナー)

- 防災関連情報 ● 省エネ関連情報
- 建築業界の次世代を担う学生たちの活動紹介



一般財団法人にいがた住宅センター

〒950-0965 新潟県新潟市中央区新光町15-2 公社総合ビル7階

にいがた住宅センター 検索

お問い合わせ/企画営業課
TEL:025-283-0851
FAX:025-283-1148/E-mail:nph@nphcc.or.jp

万が一に備える 住まい方を考える



参加者ご氏名 ふりがな

会社名

ご住所 〒

お電話

FAX

ご同行者氏名 ふりがな

ご同行者氏名 ふりがな

ご同行者氏名 ふりがな

ご同行者氏名 ふりがな

ご同行者氏名 ふりがな

ご同行者氏名 ふりがな

FAX、郵送でお申込みの方は、こちらの用紙でお送りください。

●お申込みはこちらまで

FAX.025-283-1148 (24時間受付可)

✉ **nph@nphcc.or.jp**

(一財)にいがた住宅センター 企画営業課

〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 公社総合ビル7階

●お問い合わせ

TEL.025-283-0851

【個人情報の利用目的について】

今回ご応募頂いた方の個人情報は、本セミナーの聴講券送付と、今後同様のセミナーを開催する際の案内状送付に限り使用します。

(☐セミナー等の案内状の送付不要)

申込締切 / 2016年9月9日(金)

お申込みいただいた方には、後日、聴講券をお送りします。